

# 北小<sup>だいみょう</sup>渚南の大<sup>ぜんきゅう</sup>明神社と全久寺あれこれ

北小渚 眞野 勇

「**大明神社**」は北小渚南切の氏神様である。創建は室町時代、<sup>おごえい</sup>応永6(1399)年とされる。太平洋戦争末期に焼夷弾攻撃を受け、社務所を除き全久寺と共に全焼した。

その後、真清田神社と深い関係があることから、一時真清田神社の旧社殿をいただいた事もあったが、氏子の努力によりいち早く再建され、昭和49年11月には一宮市長、国会議員、県会議員、市会議員、赤見小学校長等が出席し奉祝祭が行われた。(尚、社務所は昭和8年11月に建てられました。)



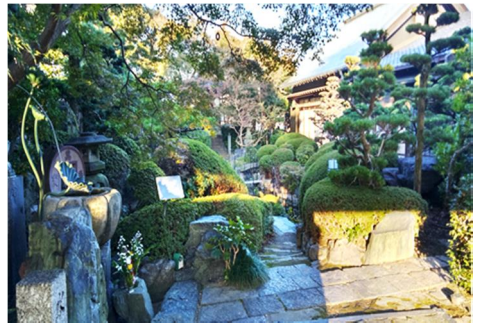
大明神社の祭神は、真清田神社と同じ「天火明命」(あめのほあかりのみこと)で、神殿の扉とすだれはこの地域で二番目に大きく立派な物だそうです。神事で神様をお呼びする時「おー」と言ってお迎えするが、すだれが大きいので一声では上がりきらず、もう一度「おー」と言って上げきります。「おー」は、神様がお出ましになるので静粛にしてくださいと注意を呼びかける意だそうです。又、大明神社という名の神社は珍しく、尾張地方では4社だけだそうです。北小渚北切(田島)の神社は八幡神社です。

「**百度石**」は東入り口の左側にあります。

神様に願い事を聞いて頂くため、参拝所までをぐるぐると100回まわってお参りするための石塔です。

石垣の奥が百度石





全久寺山門(左) 庭園入口(右)

**慈母観音「全久寺」(全富久稻荷、子安観音全久寺)**

全久寺は曹洞宗の寺院であり、福井県の永平寺、横浜市鶴見の総持寺を本山とする。また小牧市三淵にある正眼寺しょうげんじの末寺である。創建は文禄元(1592)年で、正眼寺の天山和尚が開基である。(大寺院の正眼寺は当時青木川沿いおりずの下津にあった。)「子安観音」は昭和12年に京都の清水寺から分身勧請されました。

言い伝えでは聖徳太子作の「薬師如来像」があり、寺宝として雪舟筆しゆつざんの「出山釈迦」があったが、空襲で焼失したとのこと。



写真2枚は類似品のもの

庭園は立派な枯山水で市内で

も屈指の庭園である。池には鯉が泳いでおり四季折々の花が参拝者を楽しませてくれる。とりわけツツジとモミジは素晴らしい。

全久寺の家紋 五三(ごさん)の桐



曹洞宗大本山の御家紋 五七(ごしち)の桐



## 「秋葉堂」

全久寺は戦災のため本堂、山門、離れ、庫裏、雪隠に至るまですべて消失した。

しかしながら、境内にあった秋葉大権現を祀る「秋葉堂」だけはなぜか消失を免れた。秋葉大権現のご加護というべきと思われる。堂前には「火知らずの杉」があった。これは氏子の真野幸助が、明治 11(1878)年に遠州秋葉山に参拝の際、神酒壺に差した杉の小枝をいただき、持ち帰ってこの地に植えたものといわれる。その後大きく成長したが伊勢湾台



上：秋葉堂 下：階段入口

風の時に倒れ、伐採されてその一部は全久寺再建のための木材として利用された。

その杉を掘った穴はそのまま大石に囲まれて残っている。階段の登り口には「右いなりどう」・「左ぼさんみち」と刻まれた石柱の道しるべがある。

年行事で例年 12 月 20 日に秋葉堂でお参りがあるが、住職がお経を唱えている間に、お堂の左側で穴を掘って薪を燃やす。終了後は水でなく土をかけて

消火するのがならわしとなっている。

## 開運長寿の鐘（萬禧通宝）の謂われ

赤く丸いのが鐘で、横の白い板に以下の説明がある。

「この鐘は当山の<sup>じゅうもつ</sup>什物(県重文)の鐘は太平洋戦争の為供出又は終戦目前の昭和 20 年 7 月



アメリカ空軍による空襲において焼夷弾が落とされたが、住職真光和尚は出征中。夫人ゆきこさんの機転により本尊様、子安観音様は井戸に入れ難を逃れたが他全てが消失した

当山を復興した勝縁により鐘を鳴らし身代わり観音に水を掛け流す事により万人が喜び、信男信女が意気投合し平和に暮らし参拝者各位の心身快樂・諸願満足をこれ願う 平成 20 年

### 鐘の鳴らし方

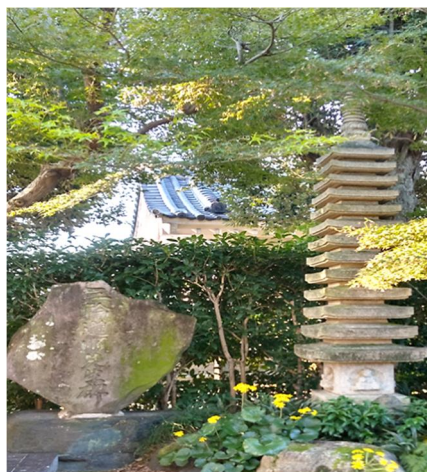
観音様に合掌礼拝し硬貨をを鐘に向けて投げる。鐘が鳴ると滝に水が流れ身代わり観音に水が流れる」

### 三輪道順の碑と観音様

境内には当時の住職で漢学の師といわれる三輪道順



の記念碑が建っている。またその隣には十三の塔が添えられている。



← 岩に浮き出る観音様

水子観音



## お地蔵様と地蔵盆

南東角にあるお地蔵様

このお地蔵さまは小さい子供を災いなどから守る菩薩として信仰されており、自分子供が無事育つようにと想いを込め、赤いよだれ

かけと赤い頭巾を奉納

され身に着けてみえま

す。この赤という色は



「清くて正しい正直な色である」と考えられており 魔よけの意味が込められているそうです。そう言えば、私達が子供の頃、地蔵盆祭りが行われてる時にお菓子などをもらった記憶があります。残念ながら今は、子供たちにお菓子をあげる風習はなくなっています。

年行事として毎年 8 月 24 日にお地蔵様をたたえる地蔵盆を実施。この祭りはお釈迦様の没後、六道りくどうで苦しむ衆生を教化・救済する地蔵菩薩での祭りです。六道とは「地獄・餓鬼・畜生・修羅・人道・天道」とされます。

【主な参考資料： 吉田光良氏著書「北小湊の歴史年表」、 全久寺住職からの話】

\*ぐるりんマップ追加情報 026「北小湊の大慈寺」もご参照ください。